

令和6年度事業報告書
(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

1 NPOに関する広報活動とともに会員の募集

ホームページのお知らせのページで日々の活動を紹介。

HHA ニュースレタ2回発行、「暮らしの保健室だより」を毎月発行。

秋田ケーブルテレビ正午から生放送の「し～なチャン」に毎月第3水曜日に定期出演して、保健室のイベント告知や訪問看護ステーションの活動をPR。

2 共暮らしの住まい事業(ホームホスピスくらの家手形山・土崎港の運営)

令和7年3月末現在、入居者手形山6名、土崎港7名(延入居者59名、看取り27名)

家族面会、外出、季節に合わせて様々なイベントを行うことが出来た。

看取り時も含め感染対策を実施しながら継続し、今期は5名の看取りがあった。

ホームページのお知らせのページで日々のくらの家での暮らしやイベントなどを発信することが出来た。

3 訪問介護事業所の継続

平成30年9月～「訪問介護事業所」をスタートし、くらの家手形、くらの家土崎でケアサービスを提供。平成31年1月からは秋田市の認定を受け、障害福祉サービス事業の中の「居宅介護支援」と「重度訪問介護事業」を展開している。今後もケアニーズの高い方々の支援に当たる。

4 訪問看護ステーションの継続

現在、常勤看護師5名(1名育児休業中)、常勤作業療法士1名(育児休業中)で稼働中。くらの家の入居者ほか、訪問看護ステーションが自ら開拓、紹介を受けた外部利用者31名を獲得。がん看護専門看護師、助産師、作業療法士がそれぞれの専門性を活かし、産前・産後のケアから高齢者まで幅広く訪問を行い、今後も引き続き事業展開し、収益アップを図る。

【内容・実績】

	介護(人/件数)	医療(人/件数)	合計(人/件数)
4月	23/197	10/141	33/338
5月	23/167	10/109	33/276
6月	18/82	13/167	31/249
7月	18/99	12/156	30/255
8月	22/131	9/64	31/195
9月	21/132	9/89	30/221
10月	22/129	8/122	32/263
11月	23/103	10/145	33/248
12月	24/155	9/136	33/291
1月	25(予防2)/123	8/101	33/224
2月	27(予防2)/137	7/85	34/222
3月	28(予防2)/138	7/129	35/267
合計	274/1593	112/1444	388/3049

5 地域の公民館にて住民を対象とした勉強会を開催。

6 ホームホスピス協会東日本支部会員としての活動

令和6年

令和7年3月15日東日本支部研修に参加。コラッセ福島会場で開催当法人から4名参加した。

ホームホスピス協会総会(11月27日)にオンライン参加。参加者と意見交換を行った。

7 あなたのかかりつけ保健師事業

ホームページ、電話での問い合わせはあったが、契約までにはならず、訪問看護ステーションの利用となったケースがあった。

8 CCRC内暮らしの保健室の運営

- ・ 秋田不動産サービスより委託を受け、講座やイベント、健康相談にあたる。
- ・ 現在、専門職10名、ボランティア8名で運営にあたる。誰でも予約なしで、医療や介護、健康に関する相談ができる。延べ利用者数549名(内相談94件)
- ・ 毎月「保健室だより」を発行。健康や介護に役立つ情報と保健室の予定や講座、イベント情報を発信。講座やイベントは感染状況を見ながら人数を調整し実施。ボランティアスタッフの特技を活かした講座や保健師、看護師、歯科衛生士・介護相談員などの専門職スタッフから協力していただいた。
- ・ 秋田県ピア・サポート活動支援事業の助成を受け「がんサロン」を毎月1回定期開催。
- ・ 図書の貸し出し(ちょこっとライブラリー)を行う。
- ・ 「生理の貧困問題」への取り組みとして、未開封の生理用品回収BOXを保健室内に設置し、回収した生理用品はNPO法人秋田たすけあいネットあゆむが運営する親子食堂やまちかど保健室で配布していただいた。

9 助成金、補助金の活用

- ・ 秋田県ピア・サポート活動支援事業(1.5万円)
- ・ 24時間テレビ福祉車両探択
- ・ 訪問看護請求業務システム補助金(42.9万円)